

# これまでの取り組み経緯について

平成 28 年 12 月 22 日

第5回石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ  
(略称:幌向再生ワークショップ)

# 1 . ワークショップ等の開催経緯

- 「石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ」を、平成26年2月24日（第1回ワークショップ）に設立し、これまで4回のワークショップと現地視察を2回開催している。
- 第4回ワークショップ（H27.12.21）では、遮水試験の実施、湿生植物の導入手法、幌向再生地の利活用方法について議論した。
- 地域連携に向けた初の取り組みとして「幌向湿原フォーラム」（H28.10.16(日)）を開催した。

	開催日	主な議題
第1回WS	H26.2.24	「石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ」の設立 石狩川下流域における取り組み状況 石狩川下流幌向地区の自然再生について
第2回WS	H26.3.24	『石狩川下流幌向地区自然再生実施計画書』策定
現地視察	H26.7.4	ワークショップメンバーによる現地視察
第3回WS	H27.2.23	遮水試験の実施方法について 湿生植物の導入手法について
現地視察	H27.9.3	ワークショップメンバーによる現地視察 > 幌向再生地（現地状況、湿原植生再生試験、遮水盛土試験）、意見交換会



# 1. ワークショップ等の開催経緯

	開催日	主な議題
第4回WS	H27.12.21	<p>遮水整備の実施方法および幌向再生地の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 遮水試験の効果、本施工の遮水方法、幌向再生地の管理</li> </ul> <p>湿生植物の導入手法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 導入スケジュール・手順、導入種の種苗採取・育苗管理等の取り組み</li> </ul> <p>幌向再生の利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 目標とする自然景観、利活用に向けた課題、地域連携の取り組み事例</li> </ul>   
幌向湿原 フォーラム	H28.10.16	<p>幌向自然再生の取り組み紹介（北海道開発局札幌開発建設部）</p> <p>地域活動紹介（宮島沼水鳥湿地センター・新篠津川功をを守る会、加納イトボを守る会、ふらっと南幌）</p> <p>幌向再生地現地視察</p>   

## 2. これまでの主な意見

	主な意見		対応状況
第4回WS (H27.12.21)	遮水整備の実施方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度に向けて、地表面水の流下方向を把握できるよう、しっかりとデータを整理していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遮水整備本施工後の地表面水位・水質観測結果を検討。（資料-2）</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水位の観測には時間がかかるので、現地観測と地下水シミュレーションを併用して分析すれば効率的ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水シミュレーション結果を踏まえ、遮水整備本施工後の地表面水位観測結果を検討。（資料-2）</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>排水溝の埋め戻しについて、あまり幾何学的に長方形にならぬように留意することとし、あとは事務局にお任せしてよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遮水整備本施工後の幌向再生地の管理状況を報告。（資料-2）</li> </ul>
	幌向再生地の利活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>幌向再生地の環境のことだけでなく、南幌町の開拓史、治水史等も含めて一般町民向けの社会教育に使えるのではないかと考えている。役場の関係部署にも情報提供を行い、利活用のアイデアを集めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度、「幌向湿原フォーラム」を開催し、役場等の関係各所、一般町民への情報発信、PRを行った。（資料-1）</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ここのメンバー以外の人に議論に加わってもらう必要がある。自然再生の話と地域活動の話は別なので、これらを連携しながら進められる場があってもよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き、幌向再生地の利活用方法を検討。（資料-4）</li> </ul>